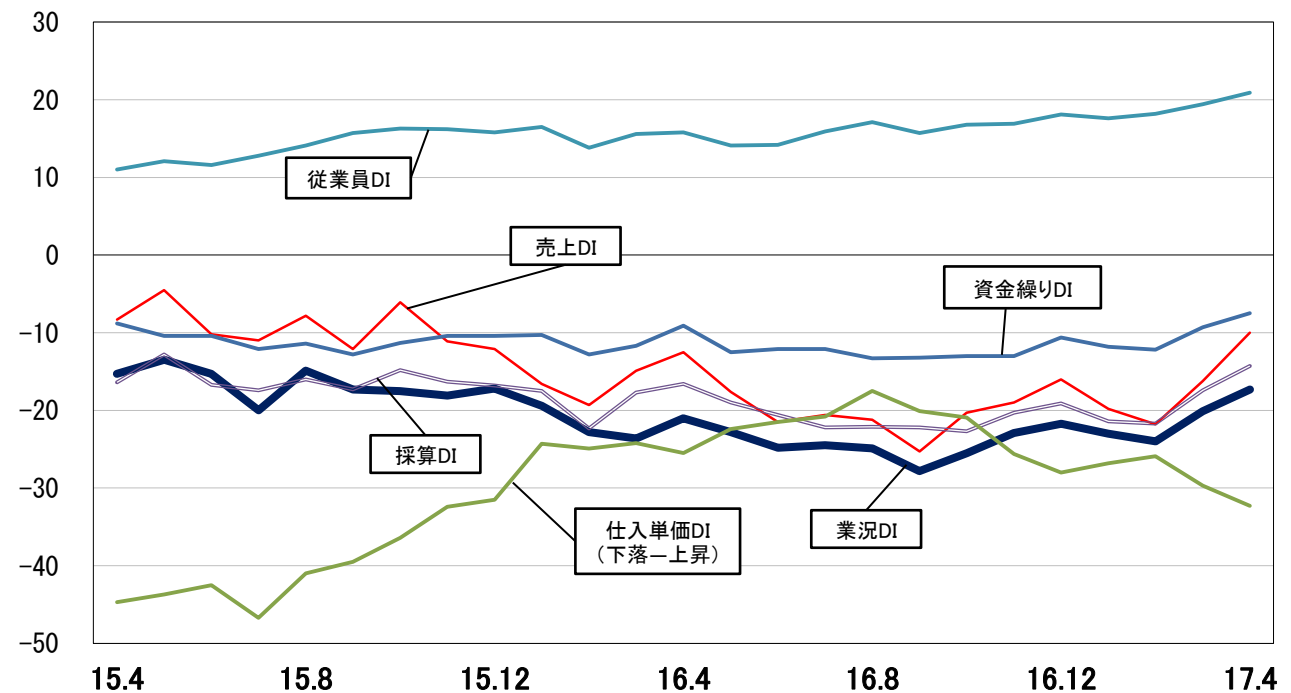


業況DIは、2カ月連続改善。先行きは懸念材料多く、横ばい圏内の動き

ポイント

- ▶ 4月の全産業合計の業況DIは、▲17.3と、前月から+2.8ポイントの改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が押し上げ要因となったことに留意が必要。インバウンドを含め春の観光需要の堅調な動きから、小売業、卸売業、サービス業の業況感が改善した。また、電子部品や自動車関連で引き続き好調な生産を指摘する声が聞かれたほか、設備投資に持ち直しの動きが見られた。一方、消費者の節約志向、人手不足の影響拡大、原材料、燃料の値上りが依然、中小企業の足かせとなっており、業況改善に向けた動きは力強さを欠く。
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲17.5（今月比▲0.2ポイント）とほぼ横ばいを見込む。ゴールデンウィークに伴う観光需要など消費の拡大や、海外経済の回復に期待する声が聞かれる。他方、消費の一段の悪化、人手不足の影響拡大、原材料・燃料価格の上昇、地政学的リスクや不安定な金融市場が実体経済に及ぼす影響など、先行きへの懸念を指摘する声は多く、中小企業の業況は横ばい圏内で推移する見通し。

LOBO全産業合計の各DIの推移(2015年4月以降)



2017年度の採用動向

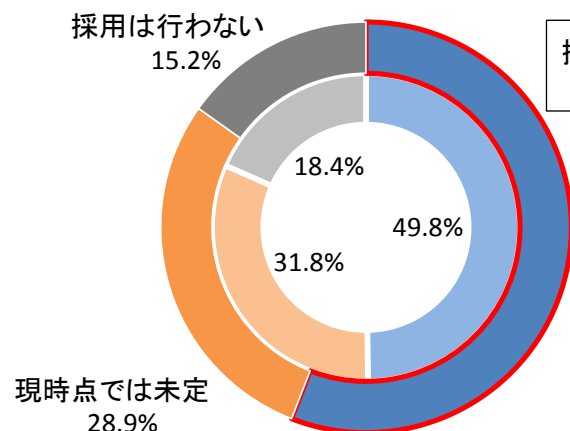
- ▶ 2017年度に採用を行う企業（全産業）は、55.9%と、前年同月と比べ、6.1ポイント増加。また「現時点では未定」とする企業は28.9%、「採用は行わない」企業は、15.2%
- ▶ 採用を予定している企業に、昨年に比した採用予定人数について聞いたところ、正社員を「増やす」企業は50.6%、非正規社員を「増やす」企業は58.0%
- ▶ 2016年度採用計画の充足状況については、正社員（新卒）を募集した企業の51.7%が予定した人数を確保できなかった。同様に、正社員（中途）については55.6%、非正規社員については53.5%の企業が、予定した人数を確保できなかった

[中小企業の声]

- ▶ 業績好調により、設備投資に加え、今春に初めて大学新卒者を採用した。来年も採用を計画している（長野 調味料製造）
- ▶ 社員募集をしても予定の人数を確保できず、現場社員の負担が増している。人手不足による受注機会の損失、社員の離職防止が喫緊の課題になっている（所沢 総合建設業）
- ▶ 求人誌やハローワークを通じて応募しているが、応募がほとんどなく、採用できない。計画を変更して省力化投資で人手不足を補うことを検討する（掛川 飲料卸売）

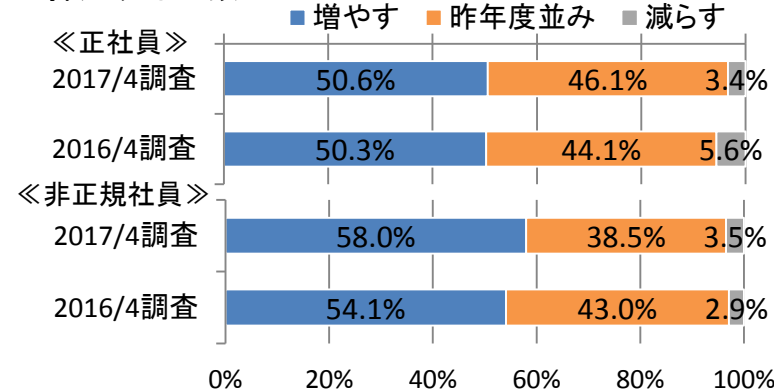
◆2017年度の採用について

※円グラフの外側が2017年4月調査、内側は前年同月調査



採用を行う
55.9%

<採用する人数>



◆2016年度の採用実績について

